

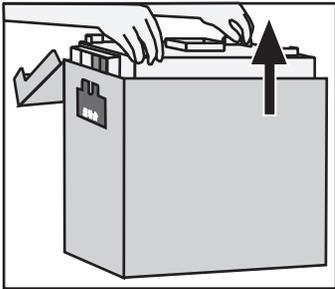
■巣箱周囲の断熱材窓開け作業

・冬期から春期にご使用される際に、施設内が高温になる場合は、以下の手順で断熱材窓開け作業を実行ください。

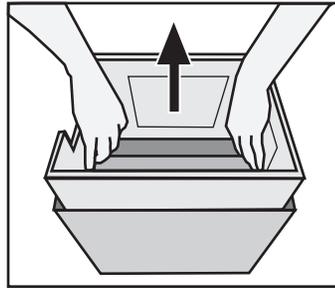
切り取った断熱材は、窓閉めに利用できますので保管ください。

・作業は、1時間前に施設内活動中のマルハナバチを回収し、必ず蜂出入り口を閉じてから、飼養現場で実行ください。

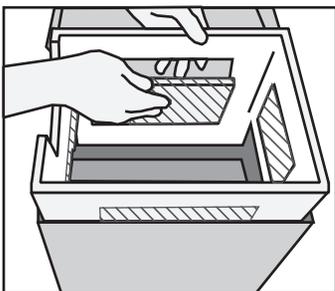
①外箱のふたを開け、内ぶたを外してから、巣箱を取り出します。



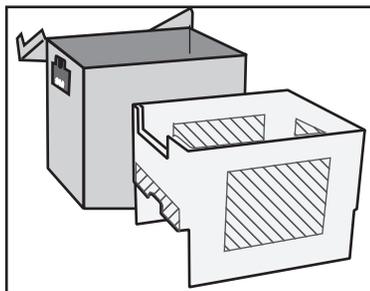
②断熱材の下側に手をかけ、断熱材を引き上げます。



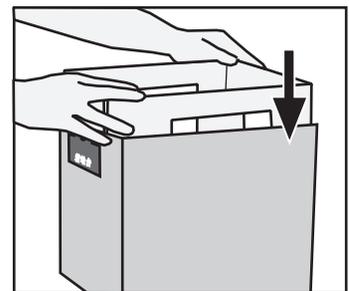
③断熱材を半分程度引き上げ、断熱材の切込みに沿って窓部分(4箇所:斜線部分)を外します。



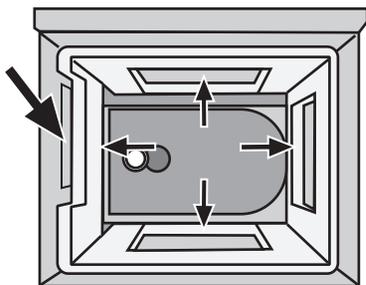
断熱材を引き出して窓部分(4箇所:斜線部分)を外すこともできます。
※実際の断熱材に斜線は入っていません



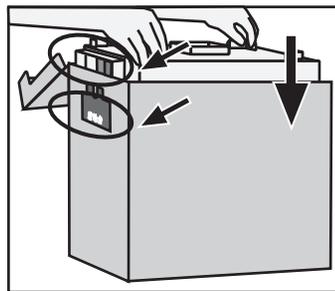
④断熱材を戻します。
※断熱材を引き出して作業した場合は向きにご注意ください。



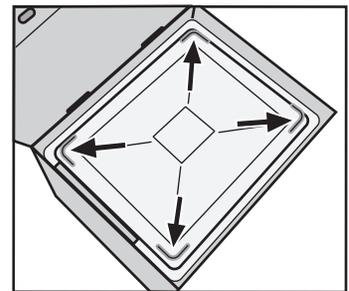
⑤窓部分(4箇所)を外して、断熱材を戻した状態です。外箱の着地台の部分がふさがれていないことを確認ください。



⑥巣箱を戻します。外箱の着地台と巣箱の蜂出入り口を同じ側にしてセットします。



⑦巣箱が水平に設置されていることを確認してください。その後、外箱のふたを閉じて完了です。



“切り取った断熱材”で窓閉めする場合：

1. 巣箱を取り出します（上記①参照）。
2. 断熱材を引き上げます（上記②参照）。
3. “切り取った断熱材”を窓部分にはめ込みます（4箇所：上記③の斜線部分）。
※この際、“切り取った断熱材”の向きに注意してください。
4. 断熱材と巣箱を戻し、外箱のふたを閉じて完了です（上記④～⑦参照）。